



第81号

●主な記事

令和4年度行事のご案内
支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

令和4年6月10日発行
一般社団法人 長野高等学校金鶴会
事務局 ☎(026)235-3822
発行人 加藤 久雄
編集人 原 良通

URL
<http://www.kinshi.org>
E-Mail
dousoukai@kinshi.org



ご挨拶

全国の同窓生の皆様にはコロナ禍においてもお元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。学校では、この3月に284名（全・定）の生徒が無事日新鐘を後にして進学・就職へと新しい道に力強く歩みだしました。また4月には今年も元気な294名の新入生を迎える新たに活気に満ちた高校生活が始まったとお聞きしております。

さて私ども同窓会の役割は、母校の最大の応援団であると同時に、先輩・後輩また同期との貴重な人間的な触れ合いを深め、そこから新たなネットワークの構築であります。私もはるか60年前に長野高校を卒業しました。学校で何を学んだかは忘れましたが、恩師のあの頃の言動を懐かしく思い起こすとともに、同期の仲間はもとより、先輩・後輩との同志的な繋がりは、今日まで変わることなく続いている、まさに私の心の支えとなつてお



3月2日 令和3年度卒業式（高74回生）

同窓会長 加藤久雄（高13回）

ります。今日の私があるのは、正にそんな数多くの友人との出会い、そして彼らから学んできたことにあると思います。多くの同窓生もそんな思いであると思います。

しかし、今の世の中、個人情報保護への過度とも思える反応とこの3年に及ぶコロナ禍において、私たちの今までの習慣・慣行・考え方方が大きく変わり、大切な人と人とのコミュニケーションが希薄になってきています。長野高校も創立120年を超えると同窓生は高校新卒から100歳を超える先輩方と大幅な年齢ギャップが生じております。そんな今こそ学校とのよりきめ細かな連携、在校生へのフォロー、更には若手金鶴会員からベテラン会員までそれぞれに魅力溢れた活発な同窓会活動を必要とする時はありません。昔から言われている「新しい酒は新しい革袋に盛れ」のたとえのように、私は次なる会長にしっかりとバトンを引き継ぎたいと思います。「長野高校よ永遠なれ！」



4月9日 開花宣言、12日 満開の校舎南側の桜（写真）
14日・15日の風雨で早々に散ってしまいました。



『金鶴祭 七十年の軌跡』より

学校長 宮本 隆

同窓会の皆様方には日頃から大変お世話になっております。5月28日(土)に東京金鶴会で「長野高校の昔と今」をテーマにお話をさせていただきました際に参照したもの一つが、標記の冊子です。平成30年金鶴祭が第70回を迎えたことから、当時の金鶴祭推進委員長の倉島啓斗さん(高71回)を中心に、過去の金鶴祭について、長高新聞等の資料を参考して、各回の金鶴祭について紹介した労作です。内容を若干紹介しますと、金鶴祭は昭和24年(1949年)の第1回北高文化祭から始まり、ここでは、展覧会・講演会・演劇会・映画鑑賞会・音楽会等が行われました。これらの企画のその後の変遷について調べてみると、展覧会は各班活動の展示ですが、これは現在でも有志文化企画との名称で継続しています。講演会は唐木順三・外山滋比古・アントニオ猪木・辰巳琢郎・池上彰等の各界著名人を講師として招いていますが、ここ数年、実施していません。演劇会・映画鑑賞会・音楽会はそれぞれ名称を変えながら、演劇祭は第34回(昭和57年)を最後に、その後は演劇班の独自発表となりました。映画祭は第56回(平成16年)をもって終了しましたが、第34回(昭和57年)から、3年クラス毎に制作する映画コンテストが始まり、それが現在ではビデオコンテストとなっています。音楽祭は当初は校外(市民会館等)でも行われていましたが、現在では芸術祭として音楽・演劇系班活の発表の場となっています。このように第1回北高文化祭の企画は現在の金鶴祭の骨格をなすものでした。他に現在まで続く企画としては、中庭フェスティバルやクラス壁画



昭和52年9月 駅伝大会で優勝した我が2年8組

は第27回(昭和50年)に遡ります。また、大運動会(スポーツフェスティバル)は運動班の招待試合が主体だったものを、第20回(昭和43年)から、クラス主体で参加する形式に変更して現在に至っています。

これに対して、

駅伝大会・仮装大会は現在では実施されていません。駅伝は第8回(昭和31年)に始まり、第30回(昭和53年)に、共通一次のため7月開催となった金鶴祭では暑いので実施が見送られ、その後金鶴祭中ではなく、春の行事として定着し、現在に至っています。仮装大会は第9回(昭和32年)に始まり、第50回(平成10年)まで続きましたが参加クラスが少数のため廃止されました。

金鶴祭は生徒主体のためトラブルも必然です。例えば、生徒約500人がファイヤーストームを囲んでフォークダンスをしていたところ、数台の消防車がサイレンとともに現れました(第11回)。これは本部が事前に届け出を出さなかったことが原因でした。また、市民会館の予約ができておらず、音楽祭が急遽福祉センターに会場変更(第23回)したことや、市民会館での校外音楽祭の予算の見積もりが甘く、照明分1万円が不足した分について頼み込んでまけてもらったこと(第27回)など、どこか牧歌的な雰囲気も感じます。

北高文化祭で始まった金鶴祭は第7回(昭和30年)から北高祭と名前を変え、長野北高校から長野高校への名称変更に伴い第9回から金鶴祭となりました。時代と共に金鶴祭企画も上記のように変化したところも大きいのですが、長い金鶴祭の歴史の中でも変わらないのは、生徒会最大行事として、生徒自らが主体的に作り上げる行事であることです。それは昔も今も変わらない事実であり、その伝統は綿々と継承していくべきと考えています。

長野県長野高等学校
金鶴祭七十年の軌跡

ご挨拶



同窓会事務局長退任にあたって

高22回 桃林聖一

平成24年度から10年間にわたくて同窓会事務局長を務めさせていただきましたが、3月31日をもって退任いたしました。また同窓会常務理事としての任務も6月の総会で引き継ぐ予定です。同窓会は会員の親睦を図り、現役生徒への支援をするのはもちろん、金鶴会館(旧校舎)を有効に活用し、地域社会の文化の拠点でありたいと考えてやってまいりました。また、創立120周年記念事業では、長野高校の全教室にエアコンを設置し、太陽光発電設備を設けてその売電収入によ

り奨学金制度を創設するなど思い出深い事業を実現することができました。これらはひとえに多くの同窓生の皆様のおかげです。コロナの影響もあり、十分な報告や御礼を申し上げられませんでした。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。今後はさらに同窓生の皆様に積極的に参加していただいて、金鶴会館や同窓会をいっそう活用してもらえるよう祈るばかりです。長野高校・同窓会の発展を心より祈念してご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



同窓会事務局長就任にあたって

高29回 原 良通

今年度4月より、一般社団法人長野高等学校金鶴会(同窓会)事務局長を引き継ぐことになりました高29回の原良通と申します。桃林事務局長より事務局長就任を打診され、自分のような浅学非才、世事に疎いものが務まるのかと悩んだ部分もありましたが、これもご縁とお引き受けした次第です。長野高校には退職前の2年間お世話になり、その後地元の医療系大学で広報の仕事に就いておりました。長野高校在職中は東京長高金

鶴会、近畿長高金鶴会、松本金鶴会、県庁金鶴会など様々ご一緒させていただき、同窓の皆様の長野高校に対する熱い思いを感じることができました。皆様の熱意を同窓会の力として会の活性化に、また現役の長野高校生の活躍に、さらには地域貢献につなげられるよう微力ではありますが、尽力してまいりたいと思っております。皆様にはご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願ひいたします。



池田満寿夫ギャラリー

金鶴会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。
ぜひ、ご覧にお越しください。
(平日14時~17時、それ以外の時間は予めご連絡ください)

母校近況

● ECC班の活動状況について

ECC班の活動は、英語ディベート、レシテーション、英語キャンプでのプレゼンテーション、金鶴祭での展示発表や販売、東銀座の歌舞伎座で歌舞伎鑑賞など多岐に亘っていますが、この2年間はコロナ禍でオンライン開催になるなど制限がありました。

その中で中心となるのは英語ディベートで、準備型（アカデミックディベート）と即興型（パーラメンタリーディベート）の両方のスタイルに取り組んでいます。

準備型の特徴は、肯定側と否定側の主張を、その名の通り、事前に調べたデータで裏付けながら論理を構築していくもので、例年3月上旬に論題が決まります。今年度は「定年制の廃止」。10月の地区大会、県大会を経て、12月中旬の全国大会へつながります。昨年度までに7年連続で全国大会（第16回全国高校生英語ディベート大会64校参加）に出席し、3位入賞、ベスト8など上位進出を果たしています。

顧問 徳田 稔

即興型は、試合開始15分前に論題が発表されて準備を始めるので、議論の組み立ては論理中心で、必ずしもデータは必要ありません。その点で取り組みやすく、身近な事柄から国際問題まで幅広く論題設定が行えます。しかし、一方、即興で議論を組み立てなければならないので、多方面に亘る総合的な背景知識が不可欠で、昨年度の全国大会では、「プラスティック製品課税」、「北京冬季五輪ボイコット」、「アメリカ軍のアフガニスタン撤退」などの是非も論題になりました。8月に県大会があり、その結果で12月下旬の全国大会の出場が決まります。こちらも6年連続で全国大会（第7回PDA高校生即興型英語ディベート大会84校参加）に出席して、昨年度は3回目のベスト8進出を果たしました。

準備型と即興型というスタイルの異なるディベートに取り組むことで、英語の表現力や論理的思考力、更には技術面においても相乗効果が



期待されます。データによる裏付けの確実性と相手の主張に柔軟に対応できる即応性が、どちらのディベートでも有効に機能して、説得力のある言表につながります。

今年度も10名の1年生を迎えて28名となり、また新たな1ページを築いていこうとしています。今後とも、ECC班の活動にご理解とご支援を賜りたく、よろしくお願ひいたします。

野球班

現在、長野高校野球班は、『大きな仕事、大きな苦労、大きな心』という部訓のもと、『甲子園出場』を目標に、日々練習に励んでおります。私が赴任してまだ3年目ですが、生徒たちには「可能性」を常に感じています。一昨年、昨年と、実力では我々に勝る同地区の強豪相手に激闘の末、勝利をつかみました。このことは、彼らにとって「自信」となりました。目指す先は『甲子園』です。そのために日々練習を重ねています。

よく「野球をやっていると勉強はできないよね」と言われます。班活動と勉強を切り離して考えているのでしょうか。野球班の生徒は勉強ができないのか？そんなことはありません。野球で「本気に甲子園を目指しに行く」ことができる子たちは、勉強にも本気で取り組めます。「物

顧問 武田圭弘

事への本気の取り組み方」を知っているので、それが野球であろうが、勉強であろうが、人生であろうが変わりません。班活動に本気で取り組んだ子たちは、そこから離れた後の人生でも活躍します。「長野高校で甲子園に出場し、その先の人生でも成功する」そんな野球班でありたいと思っております。

最後に、日々の野球班の活動に際しましては、野球班のOB会組織であります、温故会の皆様より多大なるご支援をいただきておりますことを、この場をお借りし感謝申し上げます。今後、同窓会員の皆様に明るい報告ができますよう、生徒たちをしっかりと見守り、可能性を引き出してまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。



● 令和3年度 金鶴賞 長野高校クラブ活動近況

令和3年度に顕著な活躍をした班・部に同窓会より総額40万円の副賞を添えて金鶴賞を贈りました。また、前年度につづきコロナ感染症によりクラブ活動を制限されることが多かったので、激励の意味を込め全班・同好会に奨励賞を贈りました。

1. 金鶴優秀賞

- ・かるた班 **3万5千円**
全国高等学校選手権大会 団体ベスト8
- ・弓道班 **3万5千円**
全国選抜大会 男子団体ベスト16
- ・ECC班 **3万5千円**
全国高校生英語ディベート大会 全国5位
- ・新聞部 **3万5千円**
全国高校新聞年間紙面審査 優秀賞

2. 金鶴優良賞

- ・羽球班 **2万円**
北信越大会 出場
- ・ソフトテニス班 **2万円**
県新人戦 男子3位、選抜大会 女子3位

・ダンス班 **2万円**

県高校ダンスフェスティバル 3位

・ラグビー班 **2万円**

7人制県大会 準優勝

3. 金鶴奨励賞

- ・文芸班 **1万5千円**
県文芸コンクール 入選多数
- ・32の班・同好会 **5千円**
- ・定時制生徒会 **5千円**

4. 金鶴特別賞

上記各班で個人として活躍した15名のほか、卓球班1名、吹奏楽班1名、天文地球科学班1名、囲碁将棋班4名、剣道班1名の計23名に記念品を添えて金鶴特別賞を贈りました。

● NGP活動報告 ~3年間の文部科学省の指定事業を振り返って~

NGP推進室主任 海沼孝典

日頃より本校の教育活動へのご支援に感謝申し上げます。

昨年度末は新型コロナウイルスの感染拡大で本校のNGP活動も大きな影響を受けました。2月に実施予定であった1年生の課題研究中間発表会は2度延期され、4月にようやく実施することができました。3月は1年生の希望者による米国リーダー研修の代替として大分県別府市の立命館アジア太平洋大学(AUP)での研修を予



1年生ブレーンストーミング、高校で身に付けたい力を次々と貼り出します

定していましたが、現地訪問での研修は中止し、オンラインでの交流を実施しました。

さて、本校は令和元年度より3年間、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」(グローカル型)に指定され、探究学習を先行して実践してきました。3年間を振り返りますと、1年目(2019年度)はSGHの趣旨を継続しつつ長野の課題に踏み込み、解決を目指す課題研究をどのように進めるかを模索する取り組みでした。2年目(2020年度)は新型コロナウイルスの感染拡大でその対応が急務となり、従来の企画をオンライン等で代替し同等の教育効果を得ることを目指しました。また、2年生の課題研究が個人研究になったことで生徒の意欲が高まり、研究の深さの向上が見られました。3年目(2021年度)は課題解決に向けて政策提言を行うだけでなく、高校生としてできることは何かを考え、実行する生徒が少しずつ増え、NGP事業の深化を感じました。また、1,2年

生には一人一台端末が配布され、NGP活動だけでなく、本校の授業のスタイルが大きく変わった1年でした。

昨年度末で文部科学省の指定事業は終了しましたが、実質的には今までのNGP活動を継続し、さらなる深化・発展を目指します。具体的には本校が行ってきた「国際交流」はオンライン等を活用しながら従来の交流事業を継続し、「課題研究」については、より自由な課題設定することで生徒の研究意欲の向上や研究のさらなる

深まりを目指したいと考えております。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。



教育をテーマに研究している3年生が「高校生会議」の準備をしています

令和3年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入総額	4,499,069円
支出総額	768,906円
差引残額	3,730,163円

収入 (単位:円)	
科目	決算額
雑収入	35
前年度繰越金	4,499,034
収入総額	4,499,069

支出 (単位:円)	科 目	決算額
ICT環境整備		457,488
フレッツ利用料		91,080
講師謝金交通費補助		3,330
フィールドワーク交通費補助		123,360
生徒派遣費		22,610
印刷費		66,000
雑費		5,038
支出総額		768,906
差引残額		3,730,163

この原資には、SGH事業支援募金と120周年記念事業募金があてられています。

支部・同期会・OB会だより

東京長高金鶴会 総会・講演会

令和3年12月5日(日)、東京長高金鶴会総会・講演会が開催されました。本会は新型コロナウィルスの影響で一時中断を余儀なくされていましたが、今年度からはWeb開催により再開し、2度目となる今回も120名を超える参加者が集まり、盛会となりました。

総会では、3期6年にわたり会をご牽引いただいた柄澤康喜前会長(高21回)から、山内雅喜新会長(高31回)にバトンが引き継がれました。幹事団には高62回の若手も加わり、総勢15名の幹事団が山内新会長の下で一層の発展を図っていく体制となりました。

また、今回の講演会は加藤久雄金鶴会会長(高13回・前長野市長)をお迎えし、山内新会長、柄澤前会長の

御三方による「鼎談」という新しいスタイルで執り行われました。行政・企業のトップを務められている御三方の懐かしの高校時代の思い出から、高校卒業後、大学進学、就職、そしてトップに上り詰めるまでの、普段は聞くことのできない様々なエピソードをご披露いただきました。ファシリテーターの和田照子氏(高40回)のプロ顔負けの進行、Web会議専用スタジオからの中継により、さながらビジネス番組のようなクオリティで聴講者の高い満足を得ることができました。

鼎談の中で、加藤金鶴会会長が行政トップとして新型コロナ対応に奔走されている中、「新型コロナによって、様々な行政サービス・イベントが中止を余儀なくされている。しかし、止めるのは簡単。やることの意義をきちんと見直し、やるべきことはやれ!」と職員

に檄を飛ばした、とのお話が印象的でした。新型コロナ禍において、卒業生の集い自体、存続が危ぶまれているケースもあります。会の開催にはエネルギーもかかり、コロナの制約もあり、企画するのも参加するのも億劫になってしまう、ということもあると思います。

しかしながら、方々で活躍する先輩・後輩・同期と語り合い、刺激しあい、長野高校を卒業したことの誇りを感じ、明日への活力

に繋げられる、同窓会とはそういうものであり、本会にはその意義があり余る、お話を伺いながらそのよう確信する会となりました。 (高52回 加藤 壮)



高26回3組 「123の会」Zoom開催

高校26回3組（昭和49年3月卒業）の同級会を令和4年1月2日（日）にZoomで開催しました。卒業後この年になるまで毎年開催し、いつの頃からか「1月2日午後3時開宴」が定例となり「123（いちにさん）の会」と名付けました。首都圏在住者は夏にも恩師を迎えて独自開催していた時期があり、継続年数・開催回数ともに他に例を見ないのではないかと密かに自負しています。恩師渡邊政幸先生のお顔を拝見するのが一番の目的で、毎回20名ほどが集います。

昨年は、コロナ感染拡大のため開催は諦め、近況報

告一覧の配布となり、今年も同様にせざるを得ないと思っていたところ、Zoomでの開催はどうかとの声が上がり、金子亨氏のご尽力により、ほとんどがZoom初体験でしたが実現の運びとなりました。当日は渡邊先生はじめ、北は仙台から南は熊本まで参加者は25名を数え、飲み物を片手に盛り上りました。声を聴き、顔を見ての歓談にZoomの有難みを大いに感じた次第です。 (令和4年同級会幹事 町田孝夫 奥村信彦)

生物班小史 戦後70年の歩み

生物班OBの交流誌「うばたまむし」編集委員会は、毎年12月に寄稿文をまとめて冊子を発行、2021年末に14号を発行しました。そのかたわら、昭和20年代以降の生物班の歩みを、OBの寄稿や班誌など残された小冊子類をもとに、保存する作業を進めています。



高26回3組



OBの皆さまのご協力により、70余年に及ぶ歩みはほぼ全容がわかりました。戦後、高校生が観察を重ねた身近な自然の姿や、故郷の環境の移り変わりがわかる貴重な資料といえそうです。触れるだけで碎けるほど傷みが激しいザラ紙刷り冊子も含まれます。

生物班の前身「博物班」は、1941(昭和16)年に物理、化学、歴史班とともに発足し、その名前は1942(同17)年2月発行「金鶴」に初めて登場します。戦時体制下では2年間のみで活動が中断。戦後の1946(同21)年、活動を再開しました。1950(同25)年、名称は「生物班」になりました。1年間の記録として冊子を毎年刊行。「自然のさゝやき」(1947年)、「飯綱高原の自然」(1949-1951年)、「生物短報」(1949-1950年)と名称はかわりましたが、1951年創刊の生物班誌「吉丁虫(たまむし)」に引き継がれ、平成に入り発行された40号(2006年)まで確認できました。

冊子類は、順次PDF化してDVDに保存。パソコンで閲覧し印刷できるようにしました。小冊子「70年の

歩み」を、生きものへの関心を抱く生物班後輩へのエールとします。

(うばたまむし編集委員会 事務局)

高22回 花崎秀紀 Bobryu0517@yahoo.co.jp)

高9回 東京北ラス会 卒業65周年

高9回は長野と東京で毎月有志が親睦会を続けてきましたが、コロナ禍で大きな同期会は2年飛ばしておりました。今年、卒業後65周年となることで、思い切って東京北ラス会を開催しました。各地から合計45名の参加者がKKRホテル東京に集まりました。久しぶりに出席した人や初めての人など、にぎやかに、懐かしく昔話に花を咲かせました。当日、配布した記念パンフレットは、今回の幹事代表、池田司君の力作です。

(小粥節子)



高9回

金鶴太陽光120奨学金

創立120周年の記念事業として校舎に太陽光パネルを設置し、その売電収入で給付型奨学金が運営されています。令和2年度からスタートし、2回目として令和4年3月に、前号(第80号)でご紹介した匿名の同窓生からのご寄付も上乗せして、2名の卒業生に贈呈しました。卒業生は感謝の言葉と今後の希望を語ってくれました。それぞれの目標に向かって進学先で活躍されることを同窓会としても願っています。



市民大学事業 金鶴会館連続公開講座

公開講座

主催：東京大学史料編纂所(担当：古代史料部門「天皇家・公家の「知」の大系化としての文庫・宝蔵研究拠点創設」プロジェクト)

共催：科学研究費・基盤研究(B)「敦煌書儀・六朝尺牘文献の古代日本への受容実態の展開」

協力：一般社団法人長野教育文化振興会、一般社団法人長野高等学校金鶴会

後援：信州大学教育学部、長野県長野高等学校

於 金鶴会館 大講義室

(新)古典から読み解く歴史学－「いま明かされる古代4&中世」

第1回 5月21日(土) 【第314回講演】

放送大学 教養学部 教授

東京大学名誉教授 近藤 成一 先生

「北条義時と信濃」－「鎌倉殿の13人」に寄せて－

第4回 6月11日(土) 【第317回講演】

長野西高等学校 教諭

元長野県立歴史館 専門主事 傳田 伊史 先生

「善光寺信仰の流転と遍歴」－善光寺三尊像を中心に－

第2回 5月28日(土) 【第315回講演】

東京大学 史料編纂所 古代史料部門 教授 田島 公 先生

「諏訪大社の創祀と善光寺の創建」

－大祝家旧蔵「神氏系図」・阿蘇神社所蔵「異本阿蘇氏系図」所引－

「科野国造氏系図と中院家旧蔵十巻本『伊呂波字類抄』所引『善光寺古縁起』－

第5回 6月18日(土) 【第318回講演】

東京大学 史料編纂所 古代史料部門 教授 山口 英男 先生

「和歌山県小川八幡神社大般若経と信濃国佐久郡大坂氏願経」

第3回 6月4日(土) 【第316回講演】

立命館大学 文学部 日本史研究学域 教授

東京大学 史料編纂所協議会 委員 本郷 真紹 先生

「平安仏教二つの巨星」－最澄と空海－

第6回 7月9日(土) 【第319回講演】

信州大学 学術研究院 教育学系 教授 西 一夫 先生

「書簡表現から見る空海と最澄の交流」

－表現分析と文化受容－



結婚相談室のご案内

1. 相談日時 原則として水曜日のみ 10時から16時まで
2. 相談員 長野高校の同窓生である女性相談員が務めております。

ご本人の来室が難しい場合、ご家族様が代わりに相談にお見えになつても結構です。

ご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 TEL 026-235-3822(平日14時～19時)

E-mail dousoukai@kinshi.org http://www.kinshi.org

木曜日から
水曜日に
変わりました！



訃報



小坂健介氏(高4回)

一般社団法人金鶴会会長を長年務めていた小坂健介さん(高4回)が令和3年12月10日にお亡くなりになりました。小坂さんは信濃毎日新聞社社長として新聞製作の技術革新に尽力されるとともに、日本新聞協会副会長、県経営者協会副会長、県水泳連盟会長、県ゴルフ協会会长など各方面で要職を歴任されました。

旧校舎(現金鶴会館)の保存・維持管理・活用を目的として平成11年9月設立された社団法人金鶴会の会長に就任され、同会と長野高等学校同窓会が統合される平成25年2月までその職を務めていただきました。市民大学講座を開講し、旧校舎を生涯学習の場として地域に開放するなど金鶴会活動のリーダーとして尽力されました。それら幾多のご功績に感謝申し上げるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



鷺澤正一氏(高11回)

一般社団法人長野高等学校金鶴会の会長をお務めいただいた鷺澤正一さん(高11回)が令和4年3月5日にお亡くなりになりました。鷺澤さんは若くして炭平の社長となり、企業経営の一方、長野市教育委員、長野商工会議所副会頭、長野県経営者協会常任理事などを歴任され、平成13年11月から3期12年長野市長として地域の発展に力を尽くされました。

一般社団法人金鶴会と長野高等学校同窓会とが統合し、一般社団法人長野高等学校金鶴会がスタートした平成25年～28年まで初代会長として長高金鶴会の舵取りをされました。その間、長野高校が推進したSGH事業の支援として、教育基金を創設し募金活動に取り組むなど母校の応援を積極的に推進されました。それら幾多のご功績に感謝申し上げるとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

令和4年度 同窓会総会のご案内

期　　日 令和4年6月25日(土)

会　　場 ホテル国際21

総　　会 午後2時15分～ 芙蓉の間

講演会 午後3時～午後5時15分 芙蓉の間

演題 「なぜ僕はミニシアターの支配人になったのか」

講師 ポレポレ東中野 代表／下北沢トリウッド 代表
大槻 貴宏氏(高37回)

演題 「登山の魅力と故郷・信州への想い」

講師 山岳医 医学博士
大城 和恵氏(高38回)

* 今年度の当番は、高37回・高38回の方々です。

*出席される方は事務局へお知らせください。

回期別対抗ゴルフコンペのご案内

期　　日 令和4年9月25日(日)

場　　所 長野カントリークラブ

TEL 026-239-3100

費　　用 プレー代 13,750円(食事付き)
※優待券は使えません

参　　加 3,000円

競技方法 新ペリア方式

☆団体戦：各回期上位3名までの団体
合計成績順位

☆個人戦：個人別成績順位

申込方法 はがき又はFAXで同窓会事務局へ各回期
3名以上の連記(2組以上も可)でお申し
込みください。

締切り日 9月10日(土) *25組で締切れます

*各組のスタート時刻、その他詳細については
9月16日頃、参加者にご連絡いたします。

寄贈図書



歌集 松籟
著者 山口才智雄氏(高8回)



日本書紀の鳥
著者 山岸 哲氏(高9回)
宮澤豊穂氏(高21回)



医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY
2022年新春号～5月号
野村元久氏(高10回)寄贈



スミレが、好き。
著者 上野紘機氏(高12回)



お金ってなんだろう?
はじめてのマネーリテラシー
著者 有賀 孜氏(高15回) 訳



症状からわかる
子どもの病気とケア
著者 宮下 守氏(高16回)



「核の時代」と戦争を終わらせるために
-「人影の石」を恐れる父から娘への伝言-
著者 大久保賢一氏(高17回)



「核兵器も戦争もない世界」を創る提案
-「核の時代」を生きるあなた-
著者 大久保賢一氏(高17回)



「核の時代」と
憲法9条
著者 大久保賢一氏(高17回)



電子カルテデータ解析
医療支援のための
エビデンス・ペースト・アプローチ
著者 横田治夫氏(高28回)



海鳥と地球と人間
漁業・プラスチック・洋上風発・
野ネコ問題と生態系
著者 綿貫 豊氏(高29回)



金鶴会館連続公開講座
「三条西家本「除目書・
同紙背文書」を読む」講演集
田島 公氏(高29回)編



「長野県職員YY」
～貴方の道標となりますように～
(DVD付き)
著者 柳澤幸弥氏(高32回)



長野高校生物班OB会誌
うばたまむし14号
2021(令和3)年
生物班OB会 寄贈

令和4年度同窓会費(3,000円)のご送金をお願いいたします。

口座振替の方は6月27日(月)に引き落としとなります。

本年度は高12回までの会員の方々が会費免除になります。

送金方法

同封の振込用紙でのお振り込み ⇒ コンビニ・郵便局でお振り込みください
銀行へのお振り込みは下記の口座へお願いいたします

八十二銀行 長野北支店 普通 133722 一般社団法人長野高等学校金鶴会
長野信用金庫 城北支店 普通 0031958 一般社団法人長野高等学校金鶴会

金鶴会館 資料室



- コロナ禍3年目に突入しました。いろいろ止まっていた活動がようやく少し動き出しました。本会でも総会・講演会・懇親会が2年間中止となっていましたが、今年度は総会・講演会を実施します。全体での懇親会はありますのが、誘い合わせてご参加ください。
- 金鶴会総会開催日の6月25日(土)と翌26日(日)は第74回金鶴祭が行われます。従来は7月第1週でしたが、一週間早まりました。両日とも一般公開します。26日(日)は金鶴会館(池田満寿夫ギャラリー、資料室)も公開します。総会に参加して翌日には現在の金鶴祭を見るというのはいかがでしょうか。
- 4月に高12回6組の皆さんがあなたの父様の名前を見つけた方がいらっしゃいました。こんなこともある資料室です。皆様も何か発見があるかもしれません。気軽にお出かけください。